今日７月16日が何の日か知っていますか？

1945: 世界初の核実験, 1979:恐ろしい核災害（ウラン製錬所鉱滓ダム決壊）

みなさん。こんにちは。私たちは京都「被爆二世・三世の会」です。

今日は７月16日。この日が何の日だかご存じでしょうか？ **1945年、アメリカ合衆国ニューメキシコ州で、アメリカ軍がトリニティと名付けた世界初の原爆実験を行った日です。** この核実験が行われた時、実験場の風下にはたくさんの人々が住んでいました。実験は本当に酷い形で行われました。人々は危険な核実験のことについて、まったく知らされていませんでした。このため、実験場の風下に住んでいたたくさんの人々が、原子爆弾によって被爆してしまいました。

ぜひこのことを知って下さい。最初の原子爆弾の被害者－ヒバクシャは、アメリカ合衆国の人々なのです。アメリカ政府はまず自分たちの国の住民を傷つけました。ファーストヒバクシャは私たち被爆二世の親たちではなかったのです。

私たちはアメリカ軍による世界で初めての原子爆弾の炸裂実験に抗議します。アメリカ政府は、実験場の周辺に住んでいた人々とその家族（遺族）に対し謝罪し、補償すべきです。RECA（被爆補償法）の延長と拡大を求めます。

裏面に続く

写真右　核実験で被害を受けた家族の写真を掲げた女性とともに　テストサイト近くの犠牲者追悼会場で　2019年７月20日撮影

さらにわたしたちは、この日について、もう一つのことを知っていただきたいです。

1979 年の同じ日、**ニューメキシコ州ナバホネーション**にあった**チャーチロックウラニウム製錬所**で、放射能汚染水などを貯めこんだアースダムが決壊しました。1,100 トン(1,000 トン)の固形放射性工場廃棄物と 9,400 万 US ガロン(360,000㎥)の酸性放射性鉱滓溶液が近くのプエルコ川に流れ込みました。それらは 75 マイル(120 キロ)以上下流のアリゾナ州まで流れ、多数のナバホのコミュニティーとニューメキシコ州ギャラップ市を通過。ナバホネーションに大変な被害をもたらしました。

核災害への抗議の様子。ウラン工場跡地近く
ナバホネーションにて　2019 年 7 月 16 日撮影

とても酷い核災害でしたが、ダム決壊の原因は、工場を運営する会社が経費削減のためにダムを強固に作っていなかったことにありました。また先住民族に対する差別意識からも、ダムを杜撰に作っていたのです。環境人種差別によって、深刻な汚染が生じてしまいました。私たちはこの災害のことを決して忘れません。

私たちは工場を運営していた会社(GE)とアメリカ政府に強く抗議します。両者はただちにクリーンアップを実行するとともに、ナバホ(ディネ)の人々に補償を行うべきです。

このため私たちは今日、ここに立っています。
私たちは核に汚染された世界などいりません。
私たちは戦争が嫌いです。核兵器が嫌いです。原発が嫌いです。みなさん。私たちに合流して下さい。ともに核なき世界へと歩んでいきましょう。

TEL 075-811-3203 Website: http//aogiri2-3.jp

これをゲットして下さい

Kyoto Association of Second and Third Generation Atomic Bomb Survivors